

## IOT（Wi-SUN通信搭載機器）による高齢者施設の 健康・見守りシステムの実用化（1/3）

### 経営課題、社会課題への取組

- ・ 高齢者施設入居者の体調変化を早期に把握し、重症化の回避
- ・ 施設の衛生管理向上、集団の健康管理向上
- ・ 日々の測定を習慣化し、精度の高いデータ管理及びPHRの拡充
- ・ 施設スタッフの業務負荷軽減・省力化及び働き方改革推進
- ・ 高齢者社会に向かい、施設スタッフの人材確保
- ・ 職場業務環境の向上



広域・省電力・安定通信（Wi-SUN通信搭載器）  
利用により課題解決へ  
（既存施設設備に後付け対応可能）

# IOT (Wi-SUN通信搭載機器) による高齢者施設の健康・見守りシステムの実用化 (2/3)

## 概要

- ①入居者は自室で体温、血中酸素濃度、血圧を測定
- ②Wi-SUN中継器を経由して測定データがクラウドへ自動伝送
- ③施設スタッフはクラウドデータをモニタリング

## 特徴

- ①施設入居者の集団健康情報をフロー単位、個人単位などビジュアルに把握
- ②異常値対応のアラート機能搭載
- ③入居者の測定時の負荷軽減 (24H常時使用能)

(IoT操作不要：汎用の測定器)

### ■ Wi-SUN FANシステム

#### (高齢者施設)



### ■ Wi-SUN FANシステム使用機器



## IOT（Wi-SUN通信搭載機器）による高齢者施設の 健康・見守りシステムの実用化（3/3）

### 今後の展望

- ・ 地域病院との連携を視野に置き、遠隔診療・オンライン診療をWi-SUNシステムにより実用化を目指す
- ・ マイナンバーとの連携、電子カルテとの連携などPHRの拡充を目指す
- ・ 人感センサーなど、センサー種類の拡大、画像導入による見守り領域の質向上
- ・ 独居老人の見守り、感染隔離者を見守りなど自治体・家族との連携を目指す
- ・ 災害時の防災ネットワークとしての転用試行（離島・過疎地での使用可能）